

# 協会だより

(一社)秋田市建設業協会

## 目 次

### 1. 定例会議

- 理事会
- 企画委員会
- 運営委員会

### 2. 部会・青年会等の活動

- 秋田市建築関連団体連絡協議会総会・懇談会
- 建築部会役員会
- 青年会除雪ボランティア
- 青年会研修視察

# 1. 定例会議

## ○理事会

2月27日(月)

理事14名、監事1名及び顧問が出席し以下のとおり議事が進みました。

《報告事項等》

### ① 秋田市へ提出した要望書への回答について

秋田市からの回答について事務局が理事会に報告後、今後の対応について協議した結果、建設業界の現状について秋田市の理解を求めため、小南入札制度の検討等特別委員長を中心に検討することとしました。

以下秋田市からの回答掲載。

広一 要 第34号

平成29年1月30日

一般社団法人秋田市建設業協会

会長 林 明 夫 様

秋田市長 穂 積 志

平成28年度建設工事に関する入札制度についての  
改善要望について(回答)

日頃から本市行政に対してご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。  
平成28年11月29日付けで提出のありました標記の件について、下記のとおり回答します。

## 記

### 1 秋田市総合評価落札方式ガイドラインの要望について

#### ①労働環境評価について

各職種における労働者の最も安価な予定賃金を、入札時に申請しても、各工種の工程や進捗状況によって、当初予定した建設労働者が変更となることは一般的であり、入札時に評価をすることは現実的ではありません。

また、工事完成後における最も安価な支払賃金の履行査定は、受注者が第二次以下の下請業者と契約を結ぶ実態が無く、建設労働者に支払われる賃金は、第一次下請業者等の権限によることから、受注者は第二次以下の下請業者が雇用し建設労働者に支払った賃金を、把握することは困難であります。

以上のことから工事完成後において、受注者が直接契約を結ぶ第一次下請業者の労働者に支払った賃金をその評価の対象とし、入札時には前回までの実績を評価する方式へと、改正することを要望します。

#### ②地元貢献評価について

入札時に下請業者の選定及び資機材調達先の計画を評価されても、受注後における市中の工事量、地元建設労働者や重機等の不足、工事進捗状況等による工程・工法変更、並びに資機材や労働者の単価高騰により、当初の評価内容で工事が完成することは稀であり、入札時に評価することは現実的ではありません。

従って入札時の評価を改め、工事完成後に実績として査定し、入札時には前回までの実績を評価する方式へと、改正することを要望します。

### ③工事成績評定から減点することについて

物づくりへの熱意、蓄積された技術の研鑽による匠、その結果を出来形・見栄え・品質などについて高い評価を得ることは、技術者冥利に尽き誉れでありました。

しかし、総合評価落札方式の労働環境評価及び地元貢献評価の査定が、工事成績評定点から減点されることとなり、良質な品質確保を目指した技術者の意識が低下しています。

労働環境及び地元貢献の評価は、成果品の品質の評定とは異質であることから、同ガイドライン7実績等評価項目の「過去2年間の同一工種における工事成績評定点」とは分離し、総合評価の別項目として、前回までの実績を評価する方式へと改正することを要望いたします。

昨年度、貴協会と3回の意見交換を行い、労働環境評価項目および地元貢献評価項目の評価基準の改正と工事成績評定点からの減点の緩和を今年度の入札案件から取り入れております。まずは、この結果を検証しなければならないと考えております。

また、前回までの応札実績で評価することについては、応札実績によっては有利に働く場合又は不利に働く場合がありますので、改正に当たっては慎重に検討しなければならないと考えます。(契約課)

## 2 最低制限価格制度及び低入札価格調査制度の要望について

担い手三法の改正により、国の政策や算定方式の改訂等を踏まえ、政令都市及び県庁所在都市においては、「工事請負契約に係る低入札価格調査基準中央公共工事契約制度運用連絡協議会の平成25年モデル」から「最新の28年モデル」に改正する都市が増加しております。

これらの都市の改正に倣って、秋田市の現基準を秋田県と同基準に改正して頂くことを要望します。

特に最低制限価格の算出における土木工事等の82～86%及び、その他工事の87～91%の設定数字や9段階による抽選は、ダンピング受注の原因となっていることから、秋田県の基準と同基準とすることを要望します。

低入札価格調査制度における調査基準価格および最低制限価格の算定方式について、今年度から算式を改め、引き上げております。

しかしながら、引き上げたことによって、調査基準価格および最低制限価格を下回る案件が増加傾向にあります。

このことから、本市よりも高く算定される公契連の最新モデルや県の算定方式に改めることについては、慎重に検討しなければならないと考えております。

なお、低入札価格調査制度における失格判断基準については、県の基準と比較し緩く設定されているため、引き上げる方向で検討してまいります。

(契約課)

### 3 特定建設工事共同企業体の代表者要件である総合点数引き上げの要望について

秋田市工事請負業者選定要領第7条の選定基準別表第2、「実施設計額1億円以上の建築工事総合点数850点以上」は、現在の建築格付Aの平均点(約950点)を大きく下回ることから、同表の建築工事を土木工事とは別枠に分け、発注者の品質確保の視点による総合点数のアップを要望いたします。

特定建設工事共同企業体の代表者要件にある総合点数の引き上げについては、JVの入札参加者が多くても1案件当たり、3JV程度と少ない状況にあります。

今、この総合点数を引き上げることは、ますますJVの入札参加が少なくなる恐れがあることから、現状どおりとしたいと考えております。

なお、平成27年度にJVで施工された建築工事において、代表者が建築A級で総合点数850点以上の場合の工事成績評定点の平均が80.3点に対し、950点以上の場合の工事成績評定点の平均が80.0点であることから、現状でも建築工事における品質は確保されていると考えます。

(契約課)

### 4 土木工事における格付C1とC2をCとする要望について

現在、秋田市に登録する土木の業者数は、平成17年当時に比べ約60%(132/219)に減少しております。特にC1とC2については、約52%(33+21/61+42)であり半減していることから、54社を一区分のCとしてまとめて頂きますよう要望いたします。

平成17年度から土木一式工事の等級格付けは、A、B、CをA、B、C1およびC2としております。

現在、C1およびC2の等級格付業者数が減少傾向にある他、C1およびC2を対象とした入札案件に不調が多く発生している状況であります。これらのことから、C1およびC2を集約する方向に考えております。(契約課)

### 5 入札時の設計数量の公開と質疑応答に関する要望について

建設工事の入札時の土木工事と建築工事の発注において、設計数量の公開と質疑応答の実施について差異があります。

設計数量の公開は、土木工事では完全実施されているものの、建築工事では工事規模により、躯体数量など大項目のみが参考数量として提示され、多くの工事では設計書の全項目に亘る数量公開は行われておりません。

また質疑応答は建築工事で完全実施されているものの、土木工事では全く行われておりません。

これらの設計数量と質疑応答は、工事現場の把握や品質確保に関連するだけでなく、完成後の使用勝手にも大きな影響を及ぼす場合がある事から確実な実施を要望します。

入札手続きについては、積算の透明性、客観性、妥当性の確保とあわせて入

札者の業務の効率化に取り組む必要があるものと考えております。

このため、建築工事および設備工事については、工事の規模に関わらず全ての工事において設計数量を参考として公開することといたします。

また、土木工事の質疑応答は、現在、工事担当課が書面や電話での対応をしておりますが、書面による方式に統一してまいります。

なお、以上の見直しは、平成29年4月1日以降に公告または指名通知を行う工事から適用する方針です。  
(建設総務課、上下水道局総務課)

② 秋田市建築関連団体連絡協議会定時総会 (2/6)

建築部会 16名出席 来賓秋田市長他7名出席、キャッスルホテル 於

③ 青年会の除雪ボランティア2回 (1/27, 2/22 計8社13名)

②と③について事務局が報告を行いました。また、青年会長が欠席のため、長谷川理事より熊本視察研修(2/14~26日)の報告がありました。

《議事》

議題① 正会員入会について(定款第6条理事会承認)

申請者 日本機械工業株式会社 代表取締役 伊藤暢(いとうみつる)

岡部運営委員長より2/20の審査報告がなされ、理事会として入会を認め、4/1からの正会員入会をの目途として手続きを進めることとしました。

《その他》

協会の関係行事の日程等

- ① 建築部会役員会 4/12(水) 協会会議室 於  
監査・午前10時30分~ 役員会・午前11時~
- ② 建築部会定時総会開催日 5/23(火) 秋田ビューホテル 於  
総会開催・午後5時~ 懇談会開催・午後5時45分~
- ③ 建設業協会通常総会開催日 5/30(火) 秋田キャッスルホテル 於  
総会開催・午後4時30分~ 懇談会開催・午後5時30分~
- ④ 土木部会役員会 3/6(月) 協会会議室 於  
役員会 午前11時~ 29年度事業計画及び予算について
- ⑤ 運営委員会 3/22(水)  
委員会 午前11時より
- ⑥ 土木部会役員会 4/10(月)  
監査・午前10時30分~ 役員会・午前11時~

事務局が上記6項目の開催日等について報告しました。

## ○企画委員会

2月14日(火)

委員9名が出席し事務局がこれまでの実績報告を行った後、平成28年度事業計画について各項目別に協議した結果、下記のとおり決定しました。

【議題】平成29年度事業計画(案)及び予算(案)について

### 公益目的支出計画対象事業(継続事業)

#### ①社会貢献活動事業

事務局が今年度の実績報告を行った後、寄贈品目や予算額について意見等を求めたが、具体的な提案がなく次回の委員会時に再度協議することとしました。

また、予算についてはこれまでの実績を考慮し計上することとしました。

#### ②地域振興に関する事業

理事会での協議を踏まえ、4月の市長選後において、秋田市の新文化施設(県と市による共有施設)、市立病院、インフラ整備及びその保守工事等の計画や工法について、副市長や部長を講師とする研修会・講習会の開催を計画することとしました。

#### ③その他の会計

##### イ. 研修・講習・講演会事業

同委員会の主催として具体的な案は示されず、平成29年度は実施しないこととしました。

##### ロ. 福利厚生事業

情報交換会としての具体的な事業提案が無かったため、次回委員会までに各委員が検討し、例年に倣い情報交換会は実施することとしました。

また、ゴルフ大会についても例年通り実施することとしました。

##### ハ. その他

安全祈願祭は29年度も例年通り実施しすることとしました。

## ○運営委員会

2月20日(月)

委員長他6名の委員が出席し以下のとおり議事が進められました。

《議題》正会員の入会について

申請者 日本機械工業株式会社 代表取締役 伊藤 暢(みつる)

議長が正会員入会申請内容について説明を行い、その後、定款6条及び正会員入会審査基準に基づき審査した結果、運営委員会としてこれを了とし、次回の理事会に諮問することとしました。

## 2. 部会・青年会等の活動

### ○秋田市建築関連団体連絡協議会総会・懇談会

2月6日（月）

秋田キャッスルホテルに於いて、会員72名（代理、委任状含む）が出席し、平成29年定時総会が行われました。

開会に先立ち、役員会で決定した新役員の報告を、総会添付資料により秋田管工事業協同組合の佐藤常務が行いました。

議事の経過及び議案別議決の結果については以下のとおりでした。

議案第1号 平成28年事業報告及び収支決算の承認について

阿部幹事長より総会資料に基づき平成28年事業報告及び収支決算の説明があり、引き続き塩谷監事から監査報告がなされ、これを異議なく満場一致で承認した。

議案第2号 平成29年事業計画（案）及び収支予算（案）について

阿部幹事長より総会資料に基づき平成29年事業計画（案）及び収支予算（案）の説明がなされ、これを異議なく満場一致で承認した。

総会は午後5時12分に閉会し、引き続き懇談会を開催しました。秋田市から来賓として出席頂いた穂積市長ほか7名の市会議員及び市幹部職員と、建設業界の現状や課題などについて意見交換を行いました。

### ○建築部会役員会

2月22日（月）

加藤部会長他12名が出席し以下の議題について協議を行いました。

議題① 平成29年度事業計画(案)・予算(案)について

事務局が平成28年度決算見込み及び、「平成29年度収支予算内訳(支出)(案)」について説明後協議した結果、各事業開催時の各経費の内訳明細(料理、飲食費及び会費等)の資料の添付を求める意見があり、事務局が次回からは他の部会との調整後において、統一した資料構成に改めると答弁し承認されました

また、平成29年度の事業計画として、「平成29年度秋田市建築関連事業」については、土木部会と同時開催とせず、3月の下旬又は4月上旬の開催として実施できるよう関係部課所室に依頼することとしました。

さらに、例会の対象である「秋田市住宅・建築物耐震改修促進協議会と合同事業実施」については、秋田市の対応状況が不明確なため、所管課に照会し、必要に応じては計画に組み込むこととしました。

「その他の情報収集等」については、今後の秋田市の建設工事(文化施設・病院)やインフラ整備工事(道路・橋)への計画や発注時期、及び工事の予定・工法等をテーマとする講演会の開催を計画することとしました他、秋田市建築関連団体連絡協議会では、「異業種J.V」の問題点などについて、役員会を開催し協議することとしました。

議題②建築部会定時総会について

- a 総会準備の日程 ⇒ 監査日・役員会開催日 4 / 12 (水)
- b 定時総会開催日 ⇒ 5 / 23 (火)、総会開催5時、懇談会5時45分。
- c 総会開催会場 ⇒ 秋田ビューホテル
- d 来賓案内予定者⇒ 28年度と同じ役職に。  
28年度  
建築課長、教育委員会総務課長及び参事、住宅整備課長、建築指導課長、  
管工事理事長、電業協会長、秋田市建設業会長及び土木部会長

定時総会開催日等は上記記載通り決定しました。

## ○青年会除雪ボランティア

2月22日(水)

河辺北野田の高齢者住宅の家の周囲の除雪を8名が参加して行いました。

## ○青年会研修視察

2月24日(金)～26日(日)

青年会員10名が熊本地震による、被災地視察と震災による発生した災害廃棄物の二次仮置場などの視察と、一般社団法人熊本産業資源循環協会青年部の方との異業種交流会などを行い、被災地の生の声を聞き研修してきました。